

先導チャレンジャー⑥
石原怜さん（アプリエンジニア）

【タイトル】

ロボット版「柏レイソル」の創設の第一歩

- 今回のチャレンジとそのチャレンジを思い立ったきっかけは？

アプリエンジニアとしての仕事を趣味として行っていますが、専門外のことへのチャレンジということでハードウェアに目を向けてみようと思いました。具体的には、ロボットをつくりたい。サッカーができるロボットをつくらうと思っています。

- なぜ、サッカーができるロボットを作ろうと思ったのか？

大学時代、学部がつくったロボカップの学部プロジェクトサークルに参加したことがありまして、その時は実際のロボットを動かすことはなく、プログラムだけで動かすシミュレーションリーグをしていました。ハードウェアの作製には経験がなく、ロボット自体を作ることは憧れでもありました。

- 今回のチャレンジからの学びは何でしょうか？

これまでの仕事と違うところは、間違いが機械の故障に直結することだと考えています。プログラムでは不具合として現れるだけでパソコンが壊れることはありません。何をしたら壊れてしまうのか、例えば電圧のかけ方など、ハードウェアを設計するためのいろはが学べるのではないかと考えています。あとは他の人がどれだけ興味を持ってもらえるのか、興味を持ってもらうにはどういう発信をすればいいか。私、気になります！

- 100日後、ロボットを作った後のその先は？

100日後にロボカップに出場できるようなロボットができるかどうか分かりませんが、将来、柏の葉にロボットによる柏レイソルのようなプロチームを誕生させたいという大きな夢を持っています。黄色いユニホームをきたロボットが柏の葉をかっぼする、想像するだけでワクワクしませんか？

ドリブルをして、シュート打つ、ロボットの誕生を楽しみにしててください！